

1月～8月

火災件数 18 件増加！

松本広域消防局管内の平成 21 年 1 月から 8 月までの火災発生件数は 115 件で、前年同期と比較すると 18 件増加しています。

火災は空気が乾燥する日に多く発生しています。また、ちょっとした不注意で、尊い命や貴重な財産を失っています。

火災を無くすために、燃焼器具、電気器具の正しい使用、家の周りの整理整頓など、一人ひとりの防火意識と、住宅用火災警報器や消火器の設置などの備えが大切です。

●救急車の適正利用を

救急件数は、減少傾向となっておりますが、軽症者の占める割合が約 50% となっております。

重症者など、真に救急車を必要とする人のために、救急車の適正利用にご協力をお願いします。

■松本広域消防局 豊科消防署 ☎72・3145、梓川消防署 ☎78・2090、穂高消防署 ☎82・3262、明科消防署 ☎62・2992

区分	21 年	20 年	増減	
火災	松本広域管内	115	97	18
	安曇野市内	22	20	2
救急	松本広域管内	9,013	9,612	△ 599
	安曇野市内	1,955	2,116	△ 161

消えるまで
ゆっくり火の元
にらめっ子！



名付け親の 2 人とともに市長らがテープカット



この日、図書館には 1,740 人が来館

■穂高交流学習センター「みらい」オープン

昨年からの建設工事が進められていた穂高交流学習センター「みらい」が完成し、9月12日、現地でしゅん工式が行われました。

この「みらい」は、全市的図書館システムの中核的機能を有する「中央図書館」、地域の史資料の収集や保存、また、市民の学習活動や発表、展示などができる機能を備えた「地域学習室」、研究発表や講演会、音楽鑑賞などに利用できる「多目的交流ホール」が併設されています。

総事業費は 19 億 9 4 0 0 万円。

円。内訳は国からの交付金 6 億 4 7 5 0 万円、合併特例債 9 億 6 4 9 0 万円、基金繰入金 3 億 4 4 8 6 万 2 千円、一般財源 3 6 8 0 万 6 千円です。

しゅん工式で平林市長は「地域学習の拠点として、大勢の市民の皆さんに親しまれ活用されることを願います」とあいさつしました。

正午からは中央図書館も同時に開館し、待ちわびた多くの市民が訪れ、思い思いに好みの書籍などを借りていました。

豊科近代美術館の南に建設する「豊科交流学習センター」工事の起工式が 9 月 24 日現地で行われ、地元や市、工事関係者など約 80 人が出席して、期間中の安全を祈りました。

起工式で平林市長は、「豊科町のころより、この一帯は文化活動の中心に位置づけられていた。この場所に建設されることで、学習や講座に利用いただき、市民の皆さんが交流を図り、市の文化活動の拠点となることを期待しています」とあいさつしました。

施設は、豊科近代美術館に隣接することから、外観の調和を図り、鉄筋コンクリート 3 階建ての瓦葺となり。内部には豊科図書館や多目的交流ホール、学習室 6 室のほか、名誉市



緻入れする平林市長

民で映画監督の故・熊井啓監督の顕彰室を備え、延べ面積は 2 6 1 6 ・47 平方メートル、工事費は約 8 億 5 8 0 0 万円で、国のまちづくり交付金、豊科図書館建設事業基金、合併特例債などを充てます。平成 22 年 10 月末の完成、23 年 2 月のオープンを目指します。

■豊科交流学習センター 工事始まる

豊科交流学習センター完成イメージ (奥は現美術館)

